

受付番号票貼付欄

一般社団法人解散及び清算人選任登記申請書

1. 会社法人等番号

フリガナ

1. 名称

1. 主たる事務所

1. 登記の事由

解散

令和〇年〇月〇日清算人及び代表清算人の就任

1. 登記すべき事項

「解散」

令和〇年〇月〇日社員総会の決議により解散

「役員に関する事項」

「資格」清算人

「氏名」〇〇〇〇

「役員に関する事項」

「資格」清算人

「氏名」〇〇〇〇

「役員に関する事項」

「資格」清算人

「氏名」〇〇〇〇

「役員に関する事項」

「資格」代表清算人

「住所」〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

「氏名」〇〇〇〇

「清算人会設置法人に関する事項」

清算人会設置法人

1. 登録免許税

金 円

1. 添付書類

定 款

1 通

社員総会議事録	1 通
清算人会議事録	1 通
清算人及び代表清算人の就任承諾書	通
委任状	1 通

上記のとおり、登記の申請をします。

令和 年 月 日

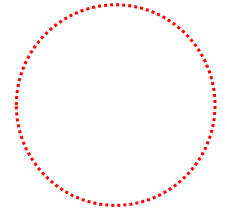
申請人 (主たる事務所)
(名称)

代表清算人 (住所)
(氏名)

連絡先の電話番号

法務局 支 局 御中
出張所

登記所届出印↓



收入印紙貼付台紙

收入
印紙



社員総会議事録

(一例です。法人の実情に合わせて、作成してください。)

臨時社員総会議事録

令和〇年〇月〇日午前〇時〇分から、一般社団法人〇〇の主たる事務所において、臨時社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	〇〇名
総社員の議決権の数	〇〇個
出席社員数（委任状によるものを含む。）	〇〇名
この議決権の総数	〇〇個
出席理事	〇〇〇〇（議長兼議事録作成者）
	〇〇〇〇
	〇〇〇〇

上記のとおり社員の出席があったので、定款の定めにより、代表理事〇〇〇〇は議長席に着き、本臨時社員総会は適法に成立したので開会する旨を宣言し、直ちに議事に入った。

第1号議案 当法人解散の件

議長は、当法人が解散に至ったやむを得ざる事情を詳細に報告し、賛否を求めたところ、本日をもって解散することを全員一致をもって異議なく承認した。

(注) 解散日を将来の日としようとする場合には、当該解散日を満了日とする存続期間の定めを設ける定款変更を決議し、その登記をする必要がありますので注意してください（その上で、当該存続期間の満了により解散したときは、2週間以内に解散の登記をすることになります。）。

第2号議案 清算人選任の件

議長は、解散に伴い、従来の理事において清算を行うべきか又は別に清算人を選任すべきかについて付議したところ、社員〇〇〇〇から、別に清算人を選任すべき旨の提言があり、全員一致をもってこれに賛成したので、投票の結果、次のとおり清算人を選任したところ、いずれも席上その就任を承諾した。

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号	
清算人	〇〇〇〇
〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号	
同	〇〇〇〇
〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号	
同	〇〇〇〇

(注) 社員総会の席上で被選任者が就任を承諾し、その旨の記載が議事録にある場合には、申請書に就任承諾書を添付することを要しません。

この場合、申請書には、「就任承諾書については、社員総会議事録の記載を援用する。」と記載してください。

第3号議案 定款変更の件

議長は、今後の清算手続を適正に遂行するため、以下のとおり定款を変更して清算人会を設置する必要がある旨を説明し、総会に諮ったところ、全員一致をもって異議なく承認した。

定款に次の1条を加えること。

(清算人会設置法人に関する定め)

第〇条 当法人は、清算人会を置く。

以上をもって、本会の議案を終了したので、午前〇時〇分、議長は閉会を宣言し、散会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、出席理事及び出席清算人において、下記のとおり記名する。

令和〇年〇月〇日

一般社団法人〇〇臨時社員総会

議長（兼議事録作成者）	代表理事	〇〇〇〇
	理事	〇〇〇〇
	同	〇〇〇〇
	清算人	〇〇〇〇
	同	〇〇〇〇
	同	〇〇〇〇

清算人会議事録

(一例です。法人の実情に合わせて、作成してください。)

清算人会議事録

令和○年○月○日の臨時社員総会において選任された清算人○名は、同日午後○時○分から○県○市○町○丁目○番○号○○内において、下記のとおり代表清算人を選定し、午後○時○分散会した。

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

記

- 代表清算人 ○県○市○町○丁目○番○号
○○○○

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席清算人の全員が次に記名押印する。

令和○年○月○日

一般社団法人○○清算人会

代表清算人 ○○○○ 印

清算人 ○○○○ 印

同 ○○○○ 印

(注) 清算人会の席上で被選任者が就任を承諾し、その旨の記載が議事録にある場合には、申請書に就任承諾書を添付することを要しません。

この場合、申請書には、「就任承諾書については、清算人会議事録の記載を援用する。」と記載してください。

就任承諾書の例

就任承諾書

私は、令和〇年〇月〇日開催の貴法人社員総会（清算人会）において、貴法人の清算人（代表清算人）に選任されたので、その就任を承諾します。

令和〇年〇月〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇

一般社団法人〇〇会 御中

（注）代表清算人についても同様に作成します。

委任状の例

委 任 状

私は、〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇を代理人に定め、下記の権限を委任する。

記

1. 当法人の解散並びに清算人及び代表清算人選任の登記を申請する一切の件
1. 原本還付の請求及び受領の件 (注1)

令和〇年〇月〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
一般社団法人〇〇会
代表清算人 〇〇〇〇 印 (注2)

- (注) 1 原本の還付を請求する場合に記載します。
2 当該代表清算人が法務局に提出する印鑑を押します。